



大町商店街にある、キッズスペース併設の
コワーキングスペース「MARUWWAニコメ」。
そこに集うママや働く人々が自分たちの
目線で見つけた、これから活躍しそうな
ヒト・モノ・コトなど身のまわりの新しい芽。
それが「ニコメ(二個目)のメ(目・芽)」です。

MARUWWAニコメ
〒017-0841 大館市宇大町9
TEL:0186-59-5305
<https://maruwwa.com/nicome/>



今月のメダマ

〈対談インタビュー〉

このまちでねこと暮らす



渋谷駅前で大野教授の帰りを待ち続けた、あの忠犬ハチ公が生まれたふるさとである大館市。この土地にとって、“人と動物が共に暮らす幸せ”というテーマは切っても切り離せないものです。

今回は、2021年2月から約2年間にわたり、ニコメノメの片隅で連載してきた「北鹿ねこつなぎ」のラストを飾る特別企画。ねこを想い、ねこと暮らす3人に語り合ってもらいました。



ねこ編集室

さわた のりこさん & ちくわくん

フリーランスのグラフィックデザイナー・ライター。2020年の秋から、自身と暮らすねこたちの様子を記録したフリーペーパー『ねこと私の謎新聞 ネコノオト』を発行。



NPO 法人あき活 Lab

みさわ まい
三澤 舞さん & スピカくん

住宅・不動産業界での勤務経験を活かし、空き家を軸にしたまちづくり活動を展開。今年2月に古道具店「空 - Kuu Antiques」をオープン。



アロマ工房 月ノ雫

はたけやま みる
畠山久美さん & ぴよん吉くん

5匹のねこと暮らすアロマセラピスト。昨年8月、自宅のねこたちの様子を何気なく撮影した動画をTikTok (@nekoneko3636) に投稿したところ、52万回再生を突破。

ねこと暮らす幸せ

畠山久美さん (以下、**畠山**) ねこたちには毎日癒されています。疲れたり嫌なことがあった時も和ませてくれるし、家族と険悪な雰囲気になった時も、ねこが突然予測のつかないことをして、つい一緒に笑ってしまったり。何度助けられたか分からないですね。

三澤舞さん (以下、**三澤**) ねこの前ではなんかニコニコしちゃうというか、イライラした顔でいられないんですね。本当に救われています。

畠山 普段は要求ばかりで自由気ままなのに、気持ちが落ち込んでるときは不思議と寄り添ってくれたりしませんか？

さわたのりこさん (以下、**さわた**) しますします！どうして人間が落ち込んでるのがわかるんでしょうね？涙の匂いとかかなのかな。

大館のねこ事情

さわた 大館で野良ねこを保護しても、どこに連絡したらいいのか分からないとよく聞きます。そういう時のための窓口があるといいですね。私はお隣の岩手県盛岡市にあ

る、保護ねこの譲渡などに関わるさまざまな活動をしている「認定NPO法人もりねこ」の企業サポーターをしながら、今の自分になにができるかを考えています。

三澤 以前盛岡に住んでいた頃、3匹の子ねこを保護して、もりねこに助けてもらったことがあります。もりねこのおかげで3匹とも無事に譲渡先が見つかりました。

畠山 実際にもりねこのような支援団体を作るとなると、資金集めなど課題も多いけど、「何かあったらあそこに聞けばいい」という窓口は必要ですね。大館市は“秋田犬のまち”として動物好きの人たちに注目されているので、観光面だけでなく動物福祉を充実させて、“動物に優しいまち”を打ち出していったらもっと盛り上がるんじゃないかな。

さわた 例えば動物福祉の情報を発信するホームページを作って、ペットの災害対策を載せたり、野良ねこを保護した時の窓口を作って周知したり。情報がしっかりしているだけでも、「大館市は動物と暮らしやすい所なんだ」と思ってもらえて、地域の発展にも繋がると思います。秋田犬の人気を生かして、ふるさと納税で動物福祉のための資金を作ったりもできそうですよね。

三澤 私は空き家の利活用の活動をしているので、大館にペットと住める住宅を増やしていきたいです。ただ一緒に住めるだけでなく、ペットが歩きやすい床材や、においを軽減する壁材など、人も動物も快適に過ごせる家づくりのアドバイスもしていきたいですね。

“ねこ親戚”をつくろう

さわた 私はねこ飼いで繋がりを持つことが大切だと思っていて、意識的に繋がりを作っています。遠出をする時には三澤さんに家の鍵を預けて、ねこたちのご飯の世話などを頼んだり。“ねこ親戚”と呼んでいるのですが、普段からそういう関係性の人がいれば、災害が起きた時などにも協力し合えますよね。

三澤 災害が起きた時に初めてねこに会うのではなく、普段から関わってお互いに慣れていたり、その子に合ったご飯のあげ方を知っておくことは、ねこたちのためにも重要だと思います。

畠山 確かに、お互いのねこを信頼して預けられる“ねこ親戚”がいたら安心ですね。私は個人的にとっても苦しかったのが愛猫との死別でした。本当に心が痛くて、笑うこともできない日々が一ヶ月も続いて。でも「ペットが死んだくらいで」と、分かってもらえないことも多かった。同じように悲しんでいる人に「悲しむことは決して悪いことではないから、無理に自分の気持ちに蓋をして前に進もうとせず、悲しむ自分を受け入れてあげていいんだよ」と伝えたいです。

さわた そういう時にも、ねこに向ける愛情のかたちが近い人との繋がりがあるといいなと思います。辛い時に分かってくれたり、相談できる人がいるのは大きいですね。

「北鹿ねこつなぎ」は今回で終了となりますが、皆様からのねこ自慢がありましたら、ぜひお寄せください！

〈ニコメノメ編集部〉

mamaplanodate@gmail.com

イラストレーターというソフトの話

私たちの生活と非常に密接な関わりを持つデザイン。デザインといってもさまざまな種類がありますが、グラフィックデザインの定番として知られているのが、Adobeのグラフィックデザインソフト・Illustrator(イラストレーター)です。

テキストと画像を組み合わせたレイアウトの作成・デザインや、線や図形を使用したイラスト作成に最適なツールとして、多くのデザイナーが使用しています。一番の特徴は「ベクターデータ」を用いてデータが作成される点です。JPEGなどの画像データは「ビットマップ」と言われ、小さなドットの集いで文字や画像を表現しているのに対し、「ベクターデータ」は点や線を計算しながら表示しているため、どんなに拡大しても画像が荒くなりません。

そのような特徴から、パソコンでのデザイン制作が主流となった1990年代以降、

印刷するためのDTPデータは大半がイラストレーターを使用して作られています。チラシやポスター・パンフレットはもちろん、イラストや写真・テキストなどのレイアウトを行う場合や、ウェブサイトや映像の素材にも使用されています。中でもデザインの業務の中で、ロゴデザインや広告デザインにおいては、一番多く使われているソフトウェアと言っても過言ではありません。ちなみにニコメノメも、入稿データはイラストレーターを使用して作成されています。

最近では映像制作やウェブサイトの制作業務が多いいしころ合同会社ですが、実はグラフィックデザインが中心のデザイン会社です。ディレクションやブランディングの資料作成などにもイラストレーターは欠かせません。しかし専門性の高いソフトであり習得に時間がかかるため、大館市内では使いこなせる人材が限られているのが現状です。そのため、すでにイラストレーターを使えるフリーランスの方や、これから本気で覚えてデザインの仕事をやっていきたい方とのマッチングや、つながりを広げていきたいと考えています。興味を持たれた方は、ぜひ一度お問い合わせください。

